

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2015年11月27日

[テーマ] 名物の食べ物下調べ—体温まるおっきりこみ—

産業調査において常に心掛けていることがある。徹底した下調べである。内容は、会社の概要や業績、業界の状況、店舗の雰囲気といったことにとどまらない。欠かせないのは、その企業が立地している地域の「名物の食べ物」。実際に食べてみないと下調べしたことにならないと考えている。

どうして食べ物の下調べが必要か？決して、ヒアリング時の話題づくりのためではない。経営者の方々の貴重な時間を無駄にする訳にはいかないの、「この間〇〇で××を食べましたよ」なんて話をするのはほとんどない。それでも、食べているのと食べていないのとでは、ヒアリングから得られる情報にも大きな違いが生じるはずだ。いえいえ、単に食べるのが好きなのである。

ヒアリングの直前に飲食店に立ち寄ることができれば一番良いのであるが、なかなかそうした時間を確保することは難しい。そこであらかじめ休日に訪れるようにしている。家族で訪れれば、周辺の観光もできて、効率的であるし、有意義でもある。

県内12市15町8村の全てを訪れるにはまだ時間がかかると思うが、各地の名物は結構食してきた。最近ハマりつつあるのは、おっきりこみ。つゆが味噌ベースだったり、醤油ベースだったり、地域によって味が異なるのは興味深い。店のメニューにあると、必ず頼んでしまう。それだけでは飽き足らなくなって、家でもレシピをみながら作り、食べている（やはり産業調査の下調べとは関係なかった！）。

来年2月19日までの期間は、おっきりこみを味わえる店舗を巡る「ぐんまおっきりこみスタンプラリー」が開催されている。抽選で素敵な商品が当たるようだ。日々気温が下がっていく中、体の芯まで温まるおっきりこみを食べ倒していくことにしたい。

あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味について知っていますか。

よく知っている	知っている	あまりよく知らない	よく知らない	無回答
12.3%	34.6%	44.6%	8.4%	0.1%

(前問で「よく知っている」、「知っている」と回答した場合) あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を、次世代に伝えたいと思いますか。

伝えたいと思う	どちらともいえない	伝えたいと思わない	わからない
79.2%	16.7%	3.6%	0.5%

(出所) 内閣府食育推進室「食育に関する意識調査(平成26年5月)」

〔 日本銀行前橋支店長
 神山 一成 〕